

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	高規格救急自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	高規格救急自動車 1 台		
総事業費 (千円)	37,590	交付金充当額 (千円)	31,700
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油地下備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、1 2 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>これまで、消防署に配備されていた救急自動車は、排気量 3,370 cc、総重量 2,705kg、乗車定員 7 名の 2WD オートマチック車であった。</p> <p>この救急自動車は、平成 13 年に一般財源で整備したもので、既に 10 年が経過しており、現在では足回りのがたつきや防振ベットの揺幅が激しく、傷病者への影響が考えられ、更には経年劣化による部品の交換・修理等が発生し、修理などに数日を要するなど、救急出場に支障を来している。また、高規格救急自動車と比べ患者室が狭いことから、救急処置・活動等に苦慮している。</p> <p>近年、本市においても救急需要は増加の一途を辿り、急病や交通事故等のみならず、地震・津波災害や危険物事故・災害など万一の大規模災害時における救急対応からも更新を必要とするものである。</p> <p>今回、更新された高規格救急自動車は、高度救命処置用資機材及びその他の救急資機材を積載し、機能、安全性、救急活動に必要な室内空間の広さ、傷病者に対する影響等を考慮した最新型の車両である。</p> <p>また、乗車定員を 7 名以上とし、最新式で操作が簡単な 4WD オートマチック車を導入した。</p> <p>更新後、これまでに救急出場が 231 回、通常訓練 129 回及び演習等救急訓練 14 回、業務連絡・応急手当指導等への出向 35 回の使用がある。</p> <p>高規格救急自動車を更新することにより、苦慮する車内での救急処置や経年劣化による不具合等が解消され、現場での救急活動が安全、確実かつ迅速に行えるとともに、本市の消防における防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	高規格救急自動車購入	指名競争入札	鹿児島トヨタ自動車(株)
			契約金額 (千円)
			37,590
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で終了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	小型動力ポンプ搭載消防自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市荒川分団（荒川 2450 番地） いちき串木野市冠岳分団（冠岳 12984 番地 2）		
交付金事業の概要	2WD 1 台 4WD 1 台		
総事業費（千円）	19,320	交付金充当額（千円）	16,600
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油地下備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、1 2 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>現在、消防団の冠岳分団に配備されている消防ポンプ自動車（BD-I）は、平成元年に導入以来、既に 23 年が経過しており、最近ではポンプ関係モニターランプの点滅灯等、電気系統に不具合がみられ、更に、ポンプ本体の老朽化（止水弁等の経年劣化）による放水圧力の低下や吸管の経年劣化による内張ゴムの剥離、ひび割れ、ピンホールの発生などにより吸水能力が低下し、消防活動に支障を来している。また、荒川分団の消防ポンプ自動車（BD-I）は、平成 2 年に導入、既に 20 年が経過しており、同様に電気系統の不具合、放水圧力の低下及び吸水能力の低下などにより、消防活動に支障を来している状況である。</p> <p>なお、今回更新された車両は、消防ポンプ自動車（BD-I）に比べ、ポンプ本体が小型動力ポンプを使用する消防自動車となるため、ポンプ性能的には若干劣るが、搭載する小型動力ポンプは同ポンプ単独での使用も可能であり、山林火災など消防車両の部署できない水利場所にも、持ち運び可能な小型動力ポンプが対応でき、岩盤タンク貯蔵所の生命線となる保水力の保持・維持に必要な不可欠な山林の保全は必然的であり、このためにも当該車両への更新が必要であった。また、風水害等の災害現場においては、多くの人員・資機材等が必要であり、積載・搬送面からの用途的にも最適である。</p> <p>今回更新された車両は、小型動力ポンプ搭載消防自動車（車両に固定配管及び遠隔操作盤により接続された取外し可能な小型動力ポンプを搭載した消防自動車）2 台で、小型動力ポンプのポンプ性能は B-2 級、自動揚水できる最新型であり、ダブルキャブ型の車両である。</p> <p>更新後、これまで冠岳分団車両は火災等災害の出動はないが、火災防ぎょ訓練等を 3 回実施、点検及び水利調査等に 11 回使用している。また、荒川分団車両は火災出動に 1 回、火災防ぎょ訓練等を 3 回実施、点検及び水利調査等に 11 回使用している。</p> <p>最新型の消防自動車に更新することにより、火災現場での消火活動がスムーズに行えるため、火災による被害の軽減が図られる。また、災害等の現場において多くの人員・資機材等に対応ができるなど、消防力が強化され、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全が確保されるものと思われる。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	小型動力ポンプ搭載消防自動車	指名競争入札	(株)鹿児島消防防災
			契約金額（千円） 19,320
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
ポンプ車両の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	消防用ホース更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 - 1		
交付金事業の概要	40mm 10本 50mm 30本		
総事業費 (千円)	1, 354	交付金充当額 (千円)	930
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油地下備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>消防用ホース50mmについては、65mmの消防用ホースに比べ軽量で、消火活動時における搬送等が容易であるため、火点直近において活用している。また、消防用ホース40mmについても、軽量で放水量も少ないため、水損防止等を考慮し、家屋内等の消火において活用している。</p> <p>現在、消防署で保有している50mm消防用ホースうち30本が平成4年以前に購入したもので、20年を経過しようとしており、ホースの摩耗等によって水漏れが発生するなど、消火活動に支障を来している。また、同様に40mm消防用ホースにおいても保有本数の半数にあたる17本が、すでに20年を経過しているため、今回更新を行った。</p> <p>特に、危険物火災では、十分な人員及び消火薬剤等を集結させ、一気に鎮火まで継続して消防活動が実施できる態勢を取ることが必要であり、そのためにも長時間の高圧放水に耐えられる新しいホースが必要不可欠である。</p> <p>今回、更新された消防用ホースは、使用圧1.6MPaの呼称50mm（結合金具口径50mm）のホースが30本及び呼称40mm（結合金具口径40mm）のホース10本である。</p> <p>更新後、これまで6回の火災等災害現場、2回の消防合同演習及び15回の火災防ぎょ訓練等において使用している。</p> <p>今回、20年以上経過の老朽化したホースを更新することにより、火災現場での漏水や、破損等の発生を防止でき、現場でのスムーズな防ぎょ体制が確立され、本市における消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース	指名競争入札	(株)鹿児島消防防災
			契約金額 (千円) 1, 354
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
消防用ホースの計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考え			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

## 2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	御倉町3号線外道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市御倉町地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=223m 舗装工 A=923 m <sup>2</sup> 排水工 L=429m		
総事業費 (千円)	16,590	交付金充当額 (千円)	15,300
交付金事業の成果及び評価	<p>市道御倉町3号・5号線は、国家石油地下備蓄基地から半径3km圏内に位置し、地域住民の避難道路としての役割を担っていることと地域住民の生活に重要な役割を果たしており、また周辺には、集会所や公園等が近接しており、地域外の住民も利用する道路であり、生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和40年代に整備しているため、路面の老朽化が著しく進行し、ひび割れや凸凹がひどく、また側溝も割れている状態である。</p> <p>そのため、車両等の円滑な走行が妨げられ、通行の際の騒音や振動が生じている。また、側溝が割れたことによる路肩の劣化や排水のつまりなどが生じ、歩行者の安全な通行が妨げられるなど、地域住民の生活に支障をきたしている。</p> <p>本路線の改良工事は、工事延長223.0mの区間において、排水路工を429.0m取り替えて、アスファルト舗装を923.0m<sup>2</sup>行った。</p> <p>本工事を実施したことで、車両が安全に走行できるようになるとともに、通行の際の騒音や振動なども抑えられ、また、歩行者などの安全な通行ができるようになり、地域住民の安心・安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	御倉町3号線外道路改良工事	条件付一般競争入札	(株)満留建設
			契約金額 (千円) 16,590
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			